

## 2017年漢城大学校サマープログラム報告書

北海道教育大学 札幌校  
教員養成課程 言語・社会教育専攻 英語分野 1年  
森川 浩輔

### つながり

#### 1. はじめに

私が参加した本プログラムは、8月10日から8月23日までの二週間にわたって行われたもので、日本人学生11名、漢城大学校の学生は7名、指導教員やスタッフは3名でのプログラムでした。漢城大学校はとて設備が良く、綺麗で、圧倒されました。

#### 2. 授業

本プログラムでの授業は6回にわたって行われました。1回の授業時間は約2時間で、前半は韓国の社会や文化、政治について学び、後半は韓国語を学ぶという構成になっていました。この授業はすべて漢城大学校の教授である土井美穂先生が行ってくれました。それらの授業はどれも素晴らしいもので、すべてノートに取りました。韓国は愛にあふれていて、年上の人を敬う文化があり、一人の人間として真似したいと感じる部分が多々ありました。また、反日や南北問題などについてもしっかりと学べたので、考えるための素地を身につけることができました。

韓国語の授業では、参加した学生のレベルに応じて三つのグループに分かれて、漢城大学校で日本語の授業を取っている韓国人学生さんがついてくださり、主に発音の練習と基本的な会話表現について学びました。私は韓国語を勉強して2~3か月しか経っておらず、文字の読み書きぐらいしかできない状態でしたが、本場の発音を学ぶことで韓国語をさらに学びたいという気持ちが芽生えました。ほかの日本人学生の方の多くは、韓国語で韓国人の方と話し、また日本人学生同士でも韓国語を使って話していて、とても刺激的でした。

#### 3. 文化体験・観光

訪れた場所は、韓国民俗村・景福宮・NANTA・仁寺洞・DMZ・ロッテワールドに行きました。これらすべてはとても刺激的で、特に韓国民俗村では韓国の伝統文化に触れることができ、韓国の馬術や民族舞踊には心躍らされました。ほかにも明洞でのショッピングなど、韓国にいることを強く感じる体験をたくさんしました。



図1 韓国民俗村での記念撮影

#### 4. 感じたこと

私が感じた韓国の良い面は、食文化が発達していること・日本語が通じやすく、看板などの表記で日本語が多いこと・年上を敬う文化があることです。韓国にいたにもかかわらず、あまり不自由なく生活できたのは、食べ物がおいしかったためであり、また日本語が通じる環境にいたからだと思います。もちろん、ハングル文字に囲まれている環境で、かつ、私はハングル文字を読めても意味は分からない状態だったので、それなりにストレスはあったと思います。しかし、韓国文化になじみやすかったことや、韓国人学生であるチューターの皆さんのおかげで、韓国語を使えない私でも十分に楽しく過ごせました。韓国は人を楽しませるのがうまいと直接かかわっていく中で私は感じました。



図2 韓服体験

ネガティブな面として挙げられるのは、日本よりもサービスの質が低い（ホスピタリティが低い）ことだと、私は感じました。例えば、空港で入国カードをくれなかったり、航空機内でドリンクをくれないときがあったりなど、完璧さに欠ける部分がありました。ほかには、水道水が飲めないほど有害なことが良くない面だと思いましたが、実際に滞在してみると、料理店やキャンパス内、寮内に無料のウォーターサーバーがあったので、むしろ日本より良いと感じました。

ほかに気づいたこととしては、至る所に国旗があることや、公園に運動具が完備されていて朝から運動している人が多くいたこと、車の運転が荒いこと、またカフェが多いことなどです。

#### 5. アドバイス

「日本文化をあまり知らないで海外に行くのはおかしい」という人もいますが、海外に行くことで日本の良さを認識できると私は今回の短期留学で感じました。そして、いろいろな国の人と友達になり、「つながり」を持つことで、ただほかの国を批判するような態度や気持ちにはならなくなり、相手のことをもっといろいろな視点で考えてみようという姿勢を持つことができ、寛容な精神を養うことができると私は今回の経験からも思いました。

また、具体的な体験を通して、大切なことを学ぶのに留学はとても重要なことなのではないかと私は考えました。例えば、滞在日数が短くなっていくにつれ、「一日を大切にしよう」「精一杯生きて、楽しもう」と改めて思えるようになると私は思います。また、自然を体感したり、歴史的建造物を見るとそれを尊敬する気持ちが私には芽生えました。このように、日常生活で見落とされがちな考えや感情を、違った場所に行くことで取り戻せたりできると私は今回のプログラムで心から思いました。やはり、留学した人にしかわからないものは必ずあると思うので、ぜひ留学（もちろん旅行でも）してみてください。英語圏に行きたい人が多いとは思いますが、アジア圏の中でも韓国は日本人にとって過ごしやすい場所であ

るので、韓国にぜひ行ってもらいたいです。

#### 6. さいごに

本当に今回のような素晴らしい経験ができたのは、このプログラムを計画・サポートしてくださった漢城大学校の職員や学生の皆様、国際課の方々をはじめとする北海道教育大学の職員の皆様のおかげです。また、私の留学をサポートしてくれた家族やプログラムに参加された日本人学生の方々にも深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。